

本県に新たな国の分散備蓄拠点の設置が決定

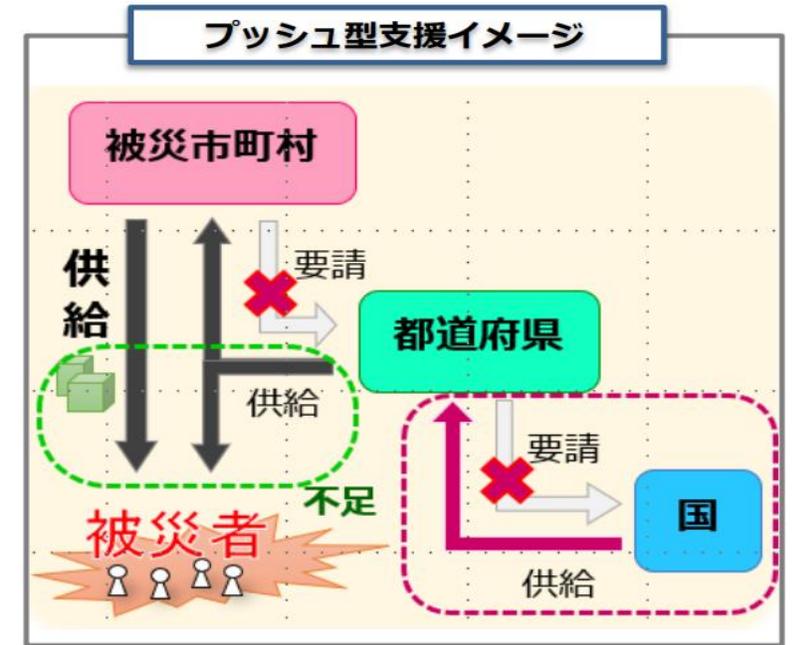
国では、プッシュ型支援を迅速かつ確実に実施するため、既に整備された全国8地域の分散備蓄体制を拡充し、更なる充実を図るため、新たに北陸地域の分散備蓄拠点を本県に設置することが決定しました。（本日(2/24)、防災担当大臣記者会見において発表）

○設置場所

富山市（県が借り上げる民間事業者の倉庫）

○選定理由

- 既存の分散備蓄拠点からの距離等を踏まえ、北陸三県に加え、新潟県まで日本海側を広くカバーできること
- 高速道路や幹線道路の整備や、市街地に近い空港など交通インフラに優位性があること
- 県防災危機管理センターの機能が充実しており、国との連携体制が迅速に確保できること。



■分散備蓄拠点：災害時に被災地から要請を待たずに救援物資を届けるプッシュ型支援の備蓄拠点

○備蓄予定物資

物資名	数量
段ボールベッド	500個
簡易ベッド	500個
簡易トイレ（手すり・背もたれ付）	15台
簡易トイレ 消耗品	200箱 (10,000回分)
入浴資機材	5セット
キッチン資機材	5セット
パーティション	1,000個

＜備蓄物資イメージ＞



＜段ボールベッド＞



＜簡易ベッド＞



＜パーティション＞



＜簡易トイレ＞



＜入浴資機材＞



＜キッチン資機材＞

○本県のメリット

- 国のプッシュ型支援が発動される大規模災害時には、県の備蓄物資と併せて、**迅速に物資を避難所等へ届け、環境改善を図ることができる。**
- 平素から**国との連携が強化され、訓練等を通じて本県の災害対応力の向上が図られ、**県民の皆様の安全・安心の確保につながる。

